

# 2025年12月期 第3四半期 決算説明資料

GreenBee株式会社

(東証グロース：3913)

2025年11月14日

本資料の複写、転用はしないで下さい



テクノロジーで、  
持続可能な未来  
を築く会社

DIGITAL TRANSFORMATION

+

GREEN TRANSFORMATION



## 事業ポートフォリオ

### GXサービス事業

脱炭素化に向けた取り組みに貢献するサービスをワンストップで提供する事業

- EMSクラウドサービス  
(エネルギー・マネジメントシステム)
- 蓄電池システムのカスタムパッケージ
  - スマートデータロガー
  - 蓄電池
  - 太陽光発電モジュール
  - EV充電器

### DXサービス事業

継続性と収益性の高いサブスク特化型事業

- クラウドデータバックアップサービス
  - GreenBee Cloud Backup
- モバイルアプリ脆弱性診断サービス
  - RiskFinder

### テクノロジーライセンス事業

競争力の高い自社テクノロジーIPをライセンスする事業

- 組込みブラウザー
  - tourbillon
- デバイス連携アプリケーション
  - GreenBee Data Transfer
  - GreenBee Screen Mirroring
- AIメイクアップアプリ
  - GreenBee Beauty Camera
- 4K/8Kプレミアコンテンツ再生
  - Valution
  - TrueBD

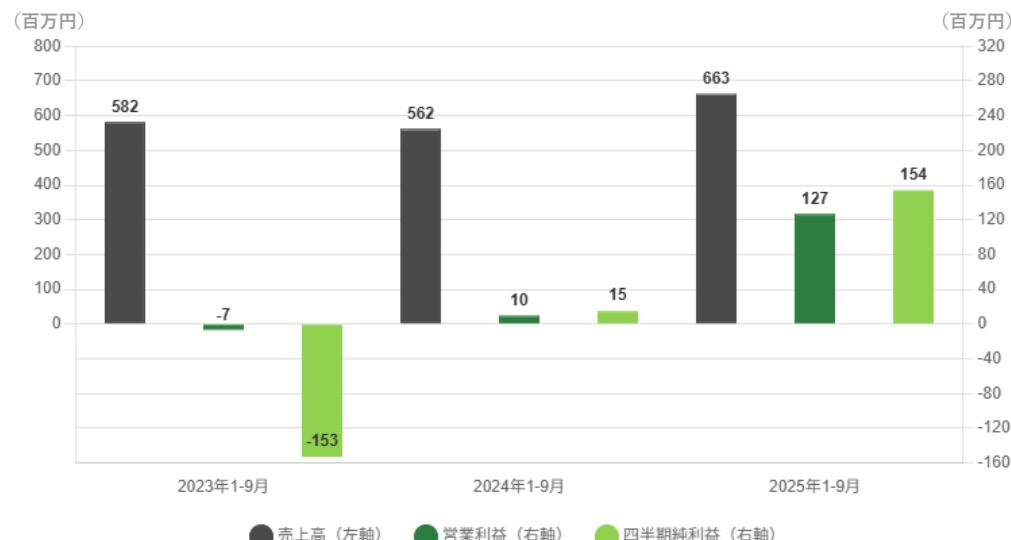
# 決算概要

2025年12月期 第3四半期

- 売上高 : 663百万円 (前年同期比 : +18.0%)
- 営業利益 : 127百万円 (前年同期比 : +1076.3%)
- 四半期純利益 : 154百万円 (前年同期比 : +890.7%)

当第3四半期での各利益項目(営業利益/経常利益/四半期純利益)は、8/14公表の通期予想を上回って着地！

## 業績推移



## 予算進捗率

（単位:百万円）	通期予算		進捗率
	2025年3Q実績 (2025年8月14日公表)	目標	
売上高	663	960	69.1%
営業利益	127	111	114.6%
経常利益	126	109	115.8%
当期純利益	154	108	142.9%

単位：百万円

	2023年	2024年	2025年	前年同期比	
	1-9月	1-9月	1-9月		
売上高	582	562	663	101	18.0%
売上原価	289	252	245	▲6	▲2.7%
売上総利益	293	310	418	108	34.9%
販管費	300	299	291	▲8	▲2.8%
営業利益	▲7	10	127	116	1076.3%
営業外収益	12	2	2	▲0	▲28.1%
営業外費用	—	—	2	2	n/a
経常利益	5	13	126	112	818.4%
特別利益	—	0	—	▲0	▲100.0%
特別損失	146	2	0	▲2	▲93.7%
税金等調整前四半期純利益	▲141	11	126	114	993.3%
法人税等	11	▲4	▲28	▲24	n/a
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>▲153</b>	<b>15</b>	<b>154</b>	<b>138</b>	<b>890.7%</b>
売上原価率	49.7%	44.9%	37.0%	▲7.9p	n/a
営業利益率	▲1.3%	1.9%	19.2%	17.2p	n/a

### ・ 売上高

前年同期との比較で、テクノロジーライセンス事業で21百万円減少した一方、DXサービス事業で121百万円増加したことで、売上高は18.0%増の663百万円となりました。

### ・ 営業利益

前年同期との比較で、1076.3%の増益となりました。売上高の増加と、製品毎のコストや人員配置の最適化等により売上原価および販管費が減少したことで、営業利益は127百万円となりました。営業利益率は19.2%まで増加しました。

### ・ 親会社株主に帰属する四半期純利益

営業利益が増加したことに加え、法人税等調整額を計上したこと等により、前年同期との比較で890.7%増の154百万円となりました。

単位：百万円

資産	2023年 12月	2024年 12月	2025年 9月	前期末比	負債・純資産	2023年 12月	2024年 12月	2025年 9月	前期末比
現金及び預金	781	932	1,070	137	買掛金	23	16	12	▲3
売掛金	215	196	212	15	未払法人税等	12	1	6	4
仕掛品	1	5	6	0	賞与引当金	2	2	11	8
原材料及び貯蔵品	116	64	37	▲26	その他	76	82	81	▲0
その他	29	30	18	▲12	流動負債合計	114	102	111	9
流動資産合計	1,144	1,229	1,344	114	固定負債合計	10	11	11	0
有形固定資産	13	13	9	▲3	負債合計	125	113	122	9
ソフトウェア	1	0	1	1	資本金・資本剰余金	1,341	1,251	1,241	▲10
その他	1	1	1	▲0	利益剰余金	▲139	▲76	78	154
無形固定資産合計	3	1	2	0	自己株式	▲166	▲29	▲29	0
投資その他資産	28	60	98	37	その他	29	45	42	▲2
固定資産合計	44	75	110	35	純資産合計	1,064	1,191	1,332	141
資産合計	1,189	1,304	1,455	150	負債・純資産合計	1,189	1,304	1,455	150

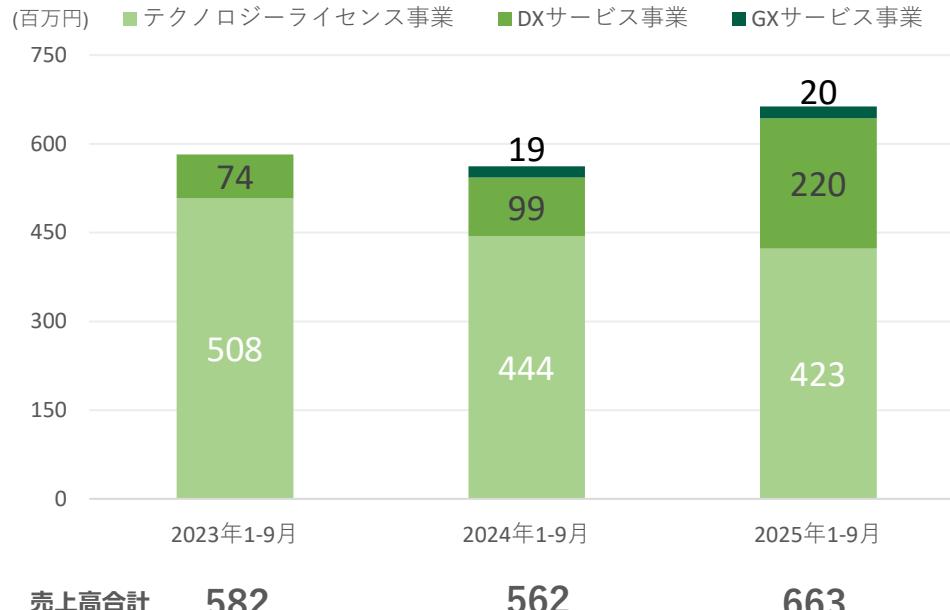
## ・ 資産

四半期純利益を計上したこと等に伴い、資産が150百万円増加しました。

## ・ 純資産

自己資本の水準について、当四半期末において自己資本比率は91.6%となりました。引き続き、財務の健全性を維持しております。なお、2025年7月に自己株式16,800株（発行済株式総数に対する割合0.72%）の取得を行っております。

# 事業領域別売上高推移



## ・ GXサービス事業

株式会社ウエストホールディングス向けの業務管理DXシステムの開発を完了し、20百万円の売上を計上しました。

## ・ DXサービス事業

当第3四半期は、第1四半期に撤退した建設DXサービスの影響により一部減収要素があったものの、主力サービス「GreenBee Cloud Backup」において期初目標を上回る新規サブスクリプション契約を獲得しました。その結果、DXサービス事業全体で220百万円の売上を計上いたしました。

クラウドバックアップ需要の拡大とサブスクリプションモデルの浸透により、中核事業の成長基盤構築が着実に進展しています。

## ・ テクノロジーライセンス事業

デジタル家電分野における4K/8Kプレミアムコンテンツ再生プレイヤー搭載製品の出荷数は引き続き減少傾向にあるものの、Windows 10のサポート終了に伴うPC買い替え需要の高まりを背景に、当社製品を搭載したPCの出荷は期初計画を上回りました。また、AI PC向けAI関連製品の開発収入が大幅に伸長した結果、423百万円の売上を計上しました。

なお、本事業領域では、開発および関連コストの適正化を進めるとともに、より利益率の高いライセンス製品への注力を継続しております。

# 事業概要

2025年12月期 第3四半期

## GXサービス事業

- 蓄電池関連システムの商談の遅延により、同事業領域での今期の収益が期初目標値を下回ることになったため、業績予想に反映しました。（15ページ参照）
- 引き続き株式会社ウエストホールディングス社と同社向けDXシステムの共同開発を推進しています。

## DXサービス事業

- 主力サービス「GreenBee Cloud Backup」は、2025年8月に有償サブスクリプション契約者数が26万人を突破し、年末KPIを4か月前倒しで達成しました。その後も順調に拡大を続け、9月末時点では29.4万人に到達しています。月間リカーリング収益（MRR）も期初目標を前倒しで達成し、2025年9月は、前年12月比323%まで拡大しました。  
新規契約獲得効率の向上や継続率の安定的な推移に加え、取引面での効率化が進み、収益性が向上しています。これにより、DXサービス事業として安定した成長基盤を確立しました。

## テクノロジーライセンス事業

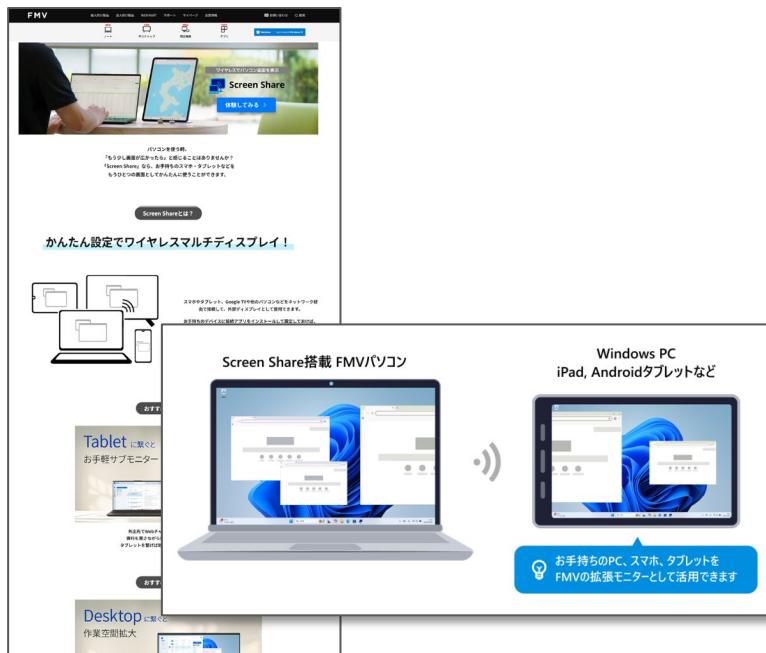
- 富士通パソコン「FMV」新モデル（2025年10月14日発表）に対し、新アプリケーション「Screen Share」の提供を開始しました。今後発売される個人向けFMVパソコンで標準搭載されていく予定です。
- 急速に拡大するAI PC市場の成長機会を捉え、AI技術を活用したコンシューマーPC向けソフトウェアの開発を推進しており、2026年初頭の発表を予定しています。

## 富士通パソコンFMV2025年10月モデルに「Screen Share」のライセンス提供開始 2025年第4四半期からロイヤリティ収入を計上予定

### タブレット等の手持ちのデバイスを外部モニターに

GreenBeeの強みであるクロスプラットフォーム、無線映像転送、バーチャルドライバー開発技術をベースに、PCとモバイル機器や家電を自在に連携する高付加価値製品として開発。

2023年の「FMVコントローラー」、2024年の「スマホConnect」に続く第三弾の製品



#### 製品概要

- Wi-Fi接続のみで、スマホ・タブレット・TVをPCの外部モニターとして利用可能にするアプリ。
- 映像+音声転送に対応。  
タッチ操作可能なデバイスからは、遠隔でのPC操作もサポート。
- 追加コストなしで無線マルチモニター環境を構築可能。
- 既存製品と組み合わせ、PCとモバイル機器間の自由な連携操作を実現。

#### 利用シーン

- ホテル宿泊時にタブレットやスマホをサブモニター化して2画面作業。
- リビングでGoogleTVをPCの大画面モニター化。
- ビジネスの商談時に、タブレットPCにプレゼン資料を投影など。

※ 富士通パソコン製品情報ページより

<https://www.fmworld.net/fmv/soft/screen-share.html>

GreenBee株式会社

## CLOUD BACKUP

- スマートフォンの個人データを容量無制限でクラウドにバックアップ。
- 高速、セキュア、かつ簡単なバックアップを実現。
- クラウドにバックアップしたデータ閲覧用のオンラインビューアも用意。
- スマートフォン販売事業者、コンシューマー向けサービス事業者などの販売パートナーを通じてサブスク販売。

iPhone / Android™ 両対応



オンラインビューア



2023年1月のサービス開始以来、

**30万人の有償サブスクリプション契約者数**に到達。

(2025年10月時点)

## 契約者数・MRRとともにKPIを前倒し達成

### 有償サブスクリプション契約者数 \*1

2025年	2025年KPI
<b>29.4万人</b>	<b>26万人</b>
9月末	12月末
進捗状況：◎	

### 月間新規獲得者数\*2

2025年	2025年KPI
<b>2.0万人/月</b>	<b>1.4万人/月</b>
1-9月平均	年間平均
進捗状況：◎	

### 月間リカーリング収益（MRR）\*3

2025年9月	2025年KPI
<b>323%</b>	<b>200%</b>
2024年12月比	2024年12月比
進捗状況：◎	

### 月間退会率

2025年	2025年KPI
<b>1.2%</b>	<b>1.2%</b>
1-9月平均	年間平均
進捗状況：○	

\* 1 有償サブスクリプション契約者数とは、月額利用料金等の支払いを伴う契約を締結している利用者数。

\* 2 月間新規獲得者数とは、当該期間（月間）において新たに有償サブスクリプション契約を開始した利用者の総数。

\* 3 月間リカーリング収益（MRR）とは、対象月の月末時点における継続課金ユーザーに係る月額料金の合計額のこと（一時収益は含まない）。

MRRとはMonthly Recurring Revenueの略。

進捗状況の◎、○及び△、×の記号は、実績に対する当社見解を表す。◎：想定以上の結果であることを表す記号。○：想定通りを表す記号。△：想定を下回っていることを表す記号。×：想定を大きく下回っていることを表す記号。

## 通期業績予想の修正

## 好調な業績推移を背景に、各段階利益を上方修正します。

(百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社 株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
期初計画値 (2/14)	960	75	75	77	33円14銭
前回発表値 (8/14) (A)	960	111	109	108	46円42銭
今回修正予想 (11/14) (B)	911	150	150	189	81円56銭
増減額 (B) - (A)	△49	39	40	81	—
増減率 (%)	△5.1	+35.8	+37.2	+75.3	—
(ご参考) 前期実績	806	50	60	63	27円88銭

DXサービス事業では、主力サービス「GreenBee Cloud Backup」が、有償サブスクリプション契約者数・月間リカーリング収益（MRR）ともに期初に計画した年間目標を前倒しで達成、第4四半期以降も引き続き堅調に推移する見込みであり、事業全体の収益拡大に寄与しています。

テクノロジーライセンス事業では、AI PC関連製品の開発収入が大幅に伸長したことに加え、高収益製品への事業構造転換および効率的な人員再配置の取り組みが継続的に成果を上げており、営業利益の改善に貢献しています。

GXサービス事業では、一部商談の遅延により今期の収益予想を下回ったため、全体の業績に反映しています。

これらを勘案した結果、上記の修正予想 (B) のとおり、通期業績予想を修正いたします。

- ・ 本資料は、提出日現在に利用可能な情報に基づいて、当社（連結子会社を含む）の事業および業界動向に加えて、当社による現在の予定、推定、見込み、または予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- ・ これらの将来の展望には、様々なリスクや不確実性が内在しています。既知、もしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと保証することはできず、実際の結果が将来の展望と著しく異なることもあります。
- ・ 本資料中の数値は、単位未満の端数処理による影響で表中の合計と一致していない場合があります。